

《担当者名》今井常晶

【概要】

公認心理師の支援対象である、様々な障害を抱えた人の特徴と心理社会的課題、必要な支援について学ぶ科目である。

【学修目標】

身体障害・知的障害・精神障害の概要について理解できる。  
 様々な障害を抱えた人の心理社会的課題と必要な支援について理解できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	身体障害の理解	視覚障害、聴覚障害、音声・言語障害、肢体不自由、内部障害について理解する。	今井常晶
2	知的障害の理解	知的障害の定義や程度、知的障害の原因について理解する。	今井常晶
3	精神障害の理解	DSM-5やICD-10による精神障害の概要について理解する。	今井常晶
4	精神障害の理解	不安症関連の障害（限局性恐怖症・社交不安障害・パニック症・全般不安症・強迫症・心的外傷後ストレス障害など）について理解する。	今井常晶
5	精神障害の理解	うつ病関連の障害（双極性障害・抑うつ障害）について理解する。	今井常晶
6	精神障害の理解	精神病性障害（統合失調症・妄想性障害）について理解する。	今井常晶
7	精神障害の理解	その他の精神障害（摂食障害・物質関連障害・神経認知障害・パーソナリティ障害）について理解する。	今井常晶
8	神経発達症の理解	自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症、限局性学習症、運動症について理解する。	今井常晶
9	障害の生物的・心理的・社会的モデルの理解	生物的・心理的・社会的モデルや国際生活機能分類（ICF）の考え方について理解する。	今井常晶
10	障害受容の理解	障害を心理的に受け止めていくプロセスや障害受容過程に応じた心理的支援について理解する。	今井常晶
11	精神障害の心理的メカニズムの理解	様々な理論（精神分析理論・行動理論・認知理論・自己理論・健康心理学理論など）から精神障害を理解する。	今井常晶
12	医療分野における障害者・障害児の心理社会的課題と支援	精神保健福祉法や心理的アセスメント、認知行動療法、SSTについて理解する。	今井常晶
13	教育分野における障害者・障害児の心理社会的課題と支援	特別支援教育の制度について理解する。	今井常晶
14	福祉分野における障害者・障害児の心理社会的課題と支援	身体障害者福祉法や障害者福祉サービスについて理解する。	今井常晶
15	まとめ	今までのまとめを行い、障害者・障害児への支援について理解を深める。	今井常晶

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用  
 授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験100%  
 問い合わせがあれば模範解答を開示する。

**【教科書】**

なし。 適宜資料を配布する。

**【参考書】**

シリーズ 心理学と仕事15 障害者心理学 柿澤敏文編 北大路書房

**【学修の準備】**

障害に関する新聞記事を読み、関連する話題について理解しておくこと（80分）。

授業終了後、配布資料を見直して復習しておくこと（80分）。

**【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】**

この授業は「こころの問題にかかわる職業人として必要な幅広い教養と専門的知識を修得している」に関連している。

**【実務経験】**

公認心理師・言語聴覚士・音楽療法士

**【実務経験を活かした教育内容】**

すべての回で関連する事例があれば話題提供する。